

# 大谷2発！！ 3試合ぶりの白星！

撮影：井上萌

## 駒澤大学3-1 国士舘大学

決勝弾を決めた大谷  
(撮影：野中康平)

4月30日 11:30 多摩市立陸上競技場

駒大 3 (1-0) 1 国士大  
(2-1)

得点者 (アシスト)

[駒]32分大谷 (桑原) [国]67分清水  
[駒]51分金 (吉岡)  
[駒]82分大谷 (吉岡)

### KOMAZAWA

GK②輪島稜(3)  
DF⑤鈴木啓晃(4)  
(45分①初芝政弘(3))  
DF④宮坂 瑠(4)  
DF③⑤星キョウファン(1)  
DF②熱川徳政(3)  
MF⑥種岡岐将(4)  
MF⑧桑原 智(4)  
MF⑩金 大生(4)  
(79分⑦深見侑生(1))  
MF⑩大村英哉(3)  
(90分④小川礼太(1))  
FW⑩吉岡雅和(4)  
FW⑨大谷真史(4)

### S U B

GK②角井栄太郎(2)  
MF⑩大場淳矢(2)  
MF④安藤 翼(2)  
FW⑨小口大司(3)

### MANAGER

秋田浩一

### KOKUSHIKAN

GK①奥津亮哉(4)  
DF⑬吉田 健(3)  
DF③遠藤裕太(4)  
DF④附木雄也(4)  
DF⑥藤寄智貴(4)  
MF⑦田場ディエゴ(2)  
(67分⑩松本孝平(4))  
MF⑩諸岡裕人(2)  
MF⑤清水和哉(4)  
MF③信末悠汰(2)  
FW⑧大石竜平(2)  
FW⑦林 祥太(4)

### S U B

GK③高瀬凌平(3)  
DF⑤加納 錬(4)  
MF③井上哲大(4)  
MF④田中智也(4)  
MF⑥近藤大貴(2)  
FW⑦山口和樹(3)

### MANAGER

細田三二

[シュート]9:6 [GK]18:17 [CK] 4:9 [直接FK]14:12  
[間接FK]4:1 [主審] 佐野元康 [観衆]374人

警告(C) / 退場(S)

[駒]76分宮坂 瑠(c) [流]21分吉田健(c)  
[流]45+1分諸岡裕人(c)

※データの左側が駒大

### 仲間の思いを胸に掴んだ勝利！

前半、試合の主導権を握ったのは駒大。風上ということもあり、競り合いやロングパスの面で分があった。守備では相手のロングパスをセンターバックの星やボランチの種岡がことごとくはじき返し、攻撃の芽を摘んだ。攻撃では得意とするサイドを使った縦に早いサッカーを展開してゆく。すると32分、この試合初めて得た右コーナーキックで先制点を挙げる。キッカー桑原が左足で蹴った球をファーサイドにいた大谷がヘッドで押し込みネットを揺らした。「桑原のボールが本当に良かったので、自分は合わせるだけだった」と大谷。今季初のセットプレーからの得点に秋田監督も「久々にほしい形で得点できた」と選手たちを評価した。先制後も攻撃の手を緩めることなく果敢に相手ゴールを狙ったが、追加点を決めきることができず前半が終了した。

後半は打って変わって国士舘大のペース。相手にボールを回され、何度も決定機を作られるが、体を張った粘り強い守備で耐え凌ぐ。すると今度は駒大が前掛かりになった相手の隙を突き、ボールを奪

ってからカウンターに出る。51分、カウンターから右サイドでパスを受けた金大生が中央へとドリブルで切り込みペナルティエリア付近でミドルシュート。「右足を怪我していたが、怖がらずに思いきり振りぬいた」という一撃はゴール右隅に突き刺さった。この追加点で一気に駒大ペースかと思われたが、不用意に与えてしまったFKで直接ゴールを決められ1点差に詰め寄られる。それでも運動量に勝る駒大は足が止まってきた相手に対し徐々にチャンスを増やしていく。82分、ディフェンスの裏に抜け出した吉岡がドリブルで仕掛け、ゴール前に走り込んでいた大谷にラストパス。これを大谷が落ち着いて沈め、3点目。再びリードを2点に広げ、試合を決定づけた。そしてこのまま時計の針は進み、試合終了のホイッスルが吹かれた。

第2節の日体大戦で負傷し、長期離脱を余儀なくされた主将の森建太の思いを胸に臨んだこの試合。チーム一丸となって戦い手にした今回の勝利は「とても意味のある一勝」(吉岡)だ。次節の相手は昨季王者の明大。厳しい試合が予想されるが選手たちは最後まで走り続ける。(織原祥平)